



前へ



Ad: 〒847-1107 佐賀県唐津市七山藤川2263番地 1
Tel : 0955-58-2009
E-mail: nanayama-e@education.saga.jp
https://www.education.saga.jp/hp/nanayama-ej/

～ 今年度もよろしくお願ひいたします！ ～



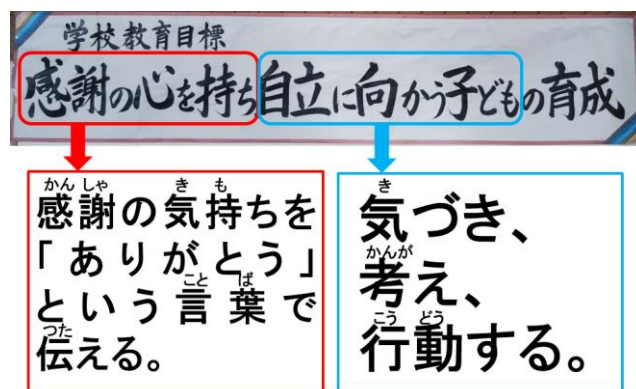
前年度に引き続き、七山小中学校の校長としてお世話になります 池田 英二 です。【校内の花壇】

本校の大きな特色は、「施設一体型」の「小中一貫教育」です。その特色を生かして、自ら学び・考える力を伸ばし、自立した子どもを育てていきます。そのためには、学校職員と保護者・地域の皆様と力を合わせていくことが大切です。4月になり、新学期としてのスタートを切ったところですが、この後の新型コロナウイルスの感染状況は不透明なところがあります。七山小中学校においては、引き続き、感染予防を行いながら、学校での活動を進めて参りますので、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。裏面の学校経営計画をご参照ください。

～ 始業式での校長の話 ～

新学年になり、子ども達は目標を立て、それに向かって気持ちを新たにして頑張ろうと思っています。そのため、始業式では、学校教育目標と関連付けながら、これから生活していく上で、この1年間、心に留めておいてほしいことを話しました。

- ・「感謝」… 感謝の気持ちを持っていることは、他の人からは見えません。だから、その気持ちを「ありがとう」という言葉で伝えよう！ 前年度から繰り返し、子ども達に話をしていたところです。
- ・「自立」… 低学年の児童には難しい言葉ではありますが、子ども達は、日々、成長しています。自分でできることを増やしていく。自分がやるべきことを考え、考えたら、行動に移そう！



【始業式でスクリーンに映して話をしました】

～ いたるところで桜が満開でした！ ～

3月の最終週は、桜の花が七山のいたるところで満開となり、「春が来たよ！」と告げていました。本校グラウンドの桜も満開の中、野球部員が練習に励んでいました。あっという間に花散らしの雨が降り、風が吹き、今は見るのができず残念です。



～ 転入等の先生方の紹介 ～

6日(水)に赴任式を行い、下記の10名の職員が赴任いたしました。七山小中学校のより一層の充実のために、全職員が一丸となって頑張る参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



【赴任された先生方】

職 名	氏 名	前任校等	職 名	氏 名	前任校等
教 頭	野崎 愛子	同一校昇任	教 諭	山下佳代子	肥前中学校より
教 諭	田中 知恵	東部中学校より	教 諭	時津 哲也	厳木中学校より
教 諭	名古屋経昭	海青中学校より	教 諭	酒井 友里	諸富南小学校より
講 師	岸川 忠史	北波多小学校より	講 師	佐藤 信江	七山小学校(生活支援員)より
非常勤講師	佐々木桂子	美術指導	非常勤講師	古館志保美	小学校：外国語指導

令和4年度 学校経営計画

唐津市立七山小中学校

学校教育目標	「感謝の心を持ち、自立に向かう子どもの育成」 ～ お互いを「思いやり」、一人一人が「輝き」、 小中一貫教育を通して自ら学び・考える力を伸ばし、自己実現を目指す ～
--------	--



めざす学校の姿	めざす児童・生徒の姿	めざす教師の姿
① 「明るく楽しい」学校	① 「仲間を思いやり、仲良く助け合う」 児童・生徒	① 「努力し、信頼される」教師
② 「生き生きと活動する」学校	② 「礼儀正しく、生き生きと活動する」 児童・生徒	② 「学び続ける」教師
③ 「自ら学ぼうとする」学校	③ 「自ら、意欲的に学ぶ」児童・生徒	③ 「子どもと地域とともに歩む」教師



教育目標達成のための重点取組		
学力の向上	心の教育の充実	健やかな体と体力
1 教師の授業力の向上による児童・生徒の学力向上 ① 学習や指導スタイルの連続性 ② 校内研究の改善	1 生徒指導の充実 ① 生活規律の確立 ② 子ども支援会議の充実 ③ 実態把握と支援策の工夫	1 健康な体づくり ① 安全・安心な給食実施と食育の充実 ② 健康・安全教育の推進
2 学習規律指導の一貫性 ① 立腰の指導と実践 ② 3構えの指導と実践	2 豊かな心の育成 ① 自他を思いやる心情の育成 ② 学校行事での交流の工夫 ③ 自主的・主体的実践力の育成	2 継続した体力づくり ① 体育行事の充実と小中学校の連携 ② 部活動の充実と社会体育との連携 ③ 外部・地域団体との連携と行事等への参加推進
3 基礎学力の定着 ① 朝の活動時間の改善・充実 ② 効果的なICT利活用 ③ 個別指導の充実 ④ 家庭学習の充実 ⑤ 読書活動の推進		

開かれた学校づくり	
1 地域との連携による学校教育のさらなる充実 ① 情報発信 ② 地域との交流促進 ③ 地域行事等への積極的協力	2 保護者・地域各機関と連携した児童・生徒の見守り ① 子ども110番の家の活用 ② 登下校時の交通・生活指導 ③ 安全教育・安全指導の充実

経営の基本方針	本校が、施設一体型の小中一貫教育に取り組むようになり14年が経過した。また、小学校入学から義務教育9年間を小中一貫教育で学んだ卒業生も6期生となる。児童・生徒や保護者、地域の中にもこの教育形態が定着してきている。 小学校最上学年(6年生)としての自覚や中学生(7年生)としての自覚を促すためのブロック制(3・3・3制)を継続し、自立に向かう児童・生徒の育成を目指す。そして、児童・生徒、保護者や地域、教師の充実感が得られるよう、次のⅠ、Ⅱ、Ⅲのような学校づくりを推進していく。 Ⅰ 七山小中学校で学んだことを、児童・生徒が誇りに思い、「ここで共に生活できてよかった」といえる学校 Ⅱ 保護者や地域と連携し、開かれた信頼される学校づくりに努め、「七山に小中一貫教育の学校があってよかった」といわれる学校 Ⅲ 小中学校のよさを取り入れ、9年間の子どもの育ちに関わることに幸せを感じ、教師が共に助け・学びあいながら、「この学校で仕事できてよかった」といえる学校
---------	--